

## こわかった <sup>だい</sup>大しんさい

おやつを たべる じゅんびを していると

<sup>がしやん</sup>ガシャン <sup>がしやん</sup>ガシャン

<sup>か</sup>花びんが おっこちて 2つに われちゃった

みんなが たいせつに して いた 花びんなのに

<sup>がつ</sup>3月 <sup>にち</sup>11日

わたしは いっけいしまほいくしょの さくらぐみだった

こうすけくんが

「いやだよ いやだよ」

と ないて <sup>すとうふ</sup>ストーブの すみに かくれた

わたしも こわくて

つくえの まわりを うろうろ うろうろ した

「<sup>おお</sup>大きい <sup>した</sup>じしんだから つくえの 下にもぐりなさい」

と えいこ<sup>せんせい</sup>先生に いわれた

ぐらぐら ぐらぐらと よこに ゆれて いた

<sup>うえ</sup>上 下 上 下 よこ よこと ゆれた

いやだな はやく おわれば いいのになあ

ずっと ずっと つづいて いた

<sup>ちゅう</sup>中おうこうみんかんの 2かいに のぼって いる とき

下を <sup>み</sup>見たら ちょっと ちゃいろい <sup>みず</sup>水が <sup>はい</sup>入って きた

<sup>あし</sup>足に ぱしゃぱしゃ かかった

いやだ いやだ こわいよう

3かいに ついたら 足が びしょびしょ

3かいの まどから ほいくしょを 見たら

ほいくしょが ぜんぶ なくなっていた

中おうこうみんかんも ながされたら どう しよう

とても こわくて しんぱいだった

よるが 2かい すぎて

つぎの あさ じえいたいの

<sup>へりこぶたあ</sup>ヘリコプターが きて くれた

よかった たすかった

(作文宮城 60号 特別編

『あの日の子どもたち』より)

